

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年			
科 目 名	エステティック理論 (関連法規)		担当教員	仙波 千代子			
授業形態	講 義	授 業 時間数	16	単位数	1	授業回数	8
科目の到達目標及び授業内容							
<ul style="list-style-type: none"> ・エステティックの全体像を正しく理解し、「真の美」を追求していくことを強く自覚する。 ・エステティックサービスがお客様の心身の健康の維持、増進に貢献するために、衛生管理をしっかり学ぶ。 ・エステティック業に関する法規を学習しながら、業務との関わり、社会生活との関りを理解する。 ・サロン経営の在り方を学ぶことで、サロンワークの現状を理解する。 							
授 業 計 画	1	エステティックの語源 美学について エステティックの歴史 国際ライセンス (INFA) ソロンエステティック					
	2	ウエルネス 世界保健機関 (WHO) エステティックの位置付け					
	3	エステの歴史 日本と外国のエステ エステティックの現状					
	4・5	エステティック業と法律 法の基礎知識 関連する法律					
	6・7	サロン経営学 繁栄するサロン 顧客とのコミュニケーション 技術者管理 エステティシヤンのホスピタリティ 再来店促進のためのサービス					
	8	後期試験					
成績評価	1) 平常点 20% 2) 定期試験 80%						
教科書・教材	「ソロンエステティック理論 1・2」						
使用教具・器材	プリント配布						
テキスト・参考文献： A4クリアファイル (配布資料の保存用) を準備してください。							
その他 (授業担当者のコメントなど)							

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次／通年			
科 目 名	解剖生理学（人体生理学／人体解剖学）		担当教員	高橋 美沙子			
授業形態	講義・演習		授 業 時間数	80	単位数	5	授業回数 40
科目の到達目標及び授業内容							
<ul style="list-style-type: none"> ●誰もが心身ともに健やかに生きたいと願うが、自然に訪れる老化現象をはじめ、多様な理由から健康を損なったり、心身の不調を感じたりする。そのメカニズムを理解する。 ●健康であることを基本として人体のしくみを学ぶ。 ●生物体が生きて働く生理学と、その構造を調べる解剖学がある。この二つを結びつけ学ぶ。 							
授 業 計 画	1～3	生理解剖学 第1章～第9章 生理解剖学の基礎知識 恒常性の維持、代謝、反射、臓器の働きなど基礎的な項目を学ぶ。					
	4～5	生体調節のしくみ 自律神経系のしくみやその作用について学ぶ。					
	6～8	人体構成のしくみ 人体の形態的構成、物質的構成について学ぶ。					
	9～13	骨格・筋肉系統について 骨・筋肉の種類とその名称と働きについて学ぶ。					
	14～15	消化器系について 消化器系とその付属期間の働きについて学ぶ。					
	16～18	呼吸器・循環器系について 呼吸器・循環器のしくみや体循環・肺循環について学ぶ。 心臓の自動性と刺激伝導系、血液成分について学ぶ。					
	19～20	泌尿器・生殖系について 腎臓の働きや生殖と遺伝について学ぶ。					
	21～22	内分泌系について 内分泌・外分泌、ホルモンと分泌腺、女性らしさについて学ぶ。					
	23.24	前期試験 解剖学・生理学基礎					
	25～29	人体のしくみを具体的に理解しさらにワークショップを実施する。					
30～35	大脳生理学 第1章～第2章 大脳生理学の基礎知識 脳の構造とその働きについて学ぶ。 神経系の構造とそのしくみについて学ぶ。						
35～38	人体生理学・大脳生理学のまとめ						
39.40	後期試験 (解剖生理学・大脳生理学)						
成績評価	平常点 10% 定期考査 90% ＊全授業の80%以上の出席がない場合は評価対象外となる						
教科書・教材	ソワンエステティック理論編1 配布プリント						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 色鉛筆（12色以上） A4サイズのファイル							

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年			
科 目 名	皮膚科学		担当教員	林 美喜			
授業形態	講義・演習		授 業 時間数	96	単位数	6	授業回数 48
科目の到達目標及び授業内容 皮膚科学概論を理解する。皮膚の役目、生理作用について理解する。知覚神経について理解する。 肌質について理解する。肌トラブルと肌の構造について結び付けができるようになる。 肌トラブルに応じたトリートメントを考えられるようになる。 肌トラブルと、身体の仕組みや役割（解剖生理学）、化粧品学を併せて考えることが出来るようになる。 化粧品検定2級取得を目指す。							
授 業 計 画	1.2	皮膚科学概論・皮膚の構造（皮膚図にて皮膚の各層、名称を覚える）					
	3.4	皮膚各層の働きや特徴を理解する①					
	5.6	皮膚各層の働きや特徴を理解する②					
	7.8	皮膚の生理作用（角化・保護・分泌・表現・呼吸他）①					
	9.10	皮膚の生理作用（角化・保護・分泌・表現・呼吸他）②					
	11.12	皮膚の生理作用（知覚・抗体産生・ビタミンD形成・体温調節他）①					
	13.14	皮膚の生理作用（知覚・抗体産生・ビタミンD形成・体温調節他）②					
	15.16	肌質（肌タイプ）・素肌美の条件を理解することで肌トラブルの基礎を学ぶ①					
	17.18	肌質（肌タイプ）・素肌美の条件を理解することで肌トラブルの基礎を学ぶ②					
	19.20	皮膚トラブル（老化）					
	21.22	皮膚トラブル（ニキビ）①					
	23.24	皮膚トラブル（ニキビ）②					
	25.26	皮膚トラブル（シミ）①					
	27.28	皮膚トラブル（シミ）②					
	29	各皮膚トラブルの原因と対策の理解を深める					
	30	前期試験					
	31.32	日本化粧品検定対策					
	33.34	肌別に応じたカウンセリング（サロントリートメント、ホームケア、アドバイス）①					
	35.36	肌別に応じたカウンセリング（サロントリートメント、ホームケア、アドバイス）②					
	37.38	カウンセリング（肌診断・トーク力）①					
39.40	カウンセリング（肌診断・トーク力）②						
41.42	総合的な理解①						
43.44	試験対策・総合的な理解②						
45	後期試験						
46.47.48	総合的な理解③						
成績評価	①平常点（出席・授業態度・意欲）20% ②前期試験 40%・後期試験 40% 全授業の80%以上出席していない場合は評価対象外となる						
教科書・教材	・テキスト1.2 ・配布プリント ・化粧品検定2.3級対策テキスト						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献： 実技と並行して皮膚のことを学ぶ為、授業内容によっては、フェイシャルやボディを行う。							
その他(授業担当者のコメントなど) 色鉛筆（12色以上）準備し、配布されたプリントを整理整頓し、わからないことは、そのままにせず、調べたり、質問を繰り返し行い、話ができるようになる努力をしてください。							

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次／通年			
科 目 名	栄養学		担当教員	仙波 千代子			
授業形態	講義	授 業 時間数	16	単位数	1	授業回数	8
科目の到達目標及び授業内容 食生活は人間の生命を維持するための重要な要素であり、美容のための原動力でもあります。 「スタイルをよくしたい」「痩せたい」という願望から、誤った食事法や運動法で、健康まで損ねてしまう例も少なくありません。エステティシャンとしてお客様に適切なアドバイスができるように、美容に対する知識・技術はもちろんのこと美容の根源ともいべき栄養や食生活について学びます。							
授 業 計 画	1	栄養学の概論 第1章 食品の成分と栄養素 5大栄養素と6つの食品群					
	2～4	第2章 炭水化物 第3章 たんぱく質 第4章 脂質 第5章 無機質 第6章 ビタミン 消化のしくみ					
	5・6	栄養学の実践 お弁当を持参しプレゼンテーション					
	7	食品アレルギー					
	8	後期試験					
成績評価	1) 平常点 20% 2) 定期試験 80%						
教科書・教材	テキスト1 配布プリント・色鉛筆						
使用教具・器材	お弁当のプレゼンテーション授業にデジタルカメラを使用。 模造紙・マーカー						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) A4クリアファイルを準備してください。 (配布資料を保存し、いつでも見直すことが出来るように整理整頓しておく。)							

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科	開講時期	1年次／通年			
科 目 名	化粧品学	担当教員	高橋 美沙子			
授業形態	講義・演習	授 業 時間数	32	単位数	2	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、そして化粧品の目的と機能、使用される主な原料などを学び、エステティシャンとしての必須知識を習得する。 自分の言葉で適切に説明ができるようにする。 						
授 業 計 画	1～4	<ul style="list-style-type: none"> 化粧品の必要性を学ぶ。 化粧品概論（薬事法・化粧品の分類・目的・取り扱い上の注意点） 基礎化粧品（洗顔料・化粧水・クリーム類・賦活化粧品・サンケア科） 				
	5～6	<ul style="list-style-type: none"> 化粧品の原料を学ぶ 基材原料（水性原料・油性原料・界面活性剤・保湿剤・高分子化合物・色材原料・香料） 化粧品に用いられる薬剤とその働き （紫外線防止剤・酸化防止剤・防腐剤・殺菌剤・美白剤・抗炎症剤・鎮静剤・ビタミン剤） 成分表作成（肌質別） 				
	7～8	<ul style="list-style-type: none"> 教材の成分や特徴を学ぶ 				
	9	<ul style="list-style-type: none"> 前期試験 				
	10～12	<ul style="list-style-type: none"> 化粧品を肌別仕様に分析する。 グループでリサーチし発表する。 				
	13～15	<ul style="list-style-type: none"> 皮膚トラブルに対する化粧品の成分・使用目的を考え適切なケアをするための手段などを考えることを学ぶ。 				
	16	<ul style="list-style-type: none"> 後期試験 				
成績評価	平常点 10% 定期考査 90% ＊平常点は出席率100%で10%の評価とする。同じく定期考査は100点で90%の評価とする。					
教科書・教材 使用教具・器材	教科書Ⅲ プリント配布 化粧品検定教本2.3級					
テキスト・参考文献：						
その他(授業担当者のコメントなど) A4クリアファイル（配布資料の保存）						

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年			
科 目 名	フェイシャル		担当教員	鶴 舞子 (美容業界勤務時にフェイシャルの実務経験)			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	192	単位数	6	授業回数 96
科目の到達目標及び授業内容							
<p>肌診断後、その肌に応じた(ハンド・美容機器を含めた)トリートメントを組み立て、時間内に施術が出来るようになる。マッサージの六技法や、マッサージの目的、トリートメントの目的を理解し、知識と技術をマスターする。施術工程の目的に併せた化粧品を選択し、知識を技術に反映させることができるようになる。心身の状態が肌に関係に深いことを他教科で学んだ上で、相手を思いやる気持ちを掌で伝えるエステティシャンとして必要なスキルを身につける。</p>							
授 業 計 画	1-3	実習室備品等の説明・機器の使用方法や注意点・実習準備について(ベッド誘導含む)					
	4-6	スポンジ・蒸しタオルの手順・オイル塗布・オイル伸ばし手順					
	7-9	マッサージの目的や六技法・技術ポイント等					
	10-12	トレーニング					
	13-15	マッサージデコルテ					
	16-18	トレーニング					
	19-21	マッサージフェイシャル					
	22-24	トレーニング					
	25-27	トレーニング					
	28-30	トレーニング					
	31-33	マッサージ確認テスト					
	34-36	クレンジング手順(ポイントメイク落とし・デコルテ・フェイシャル)					
	37-39	トレーニング					
	40-42	トレーニング					
	43-45	吸引工程・トレーニング					
	46-48	トレーニング					
	49-51	前期試験					
	52-54	パック工程・トレーニング					
	55-57	トレーニング					
	58-60	トレーニング					
	61-63	トレーニング					
	64-66	トレーニング					
	67-69	トレーニング					
	70-72	トレーニング					
73-75	トレーニング						
76-78	トレーニング						
79-81	トレーニング						
82-84	後期試験						
85-87	美容機器取り扱いについて						
88-90	トレーニング						
91-93	トレーニング						
94-96	トレーニング						
成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲)20% ②前期試験40%・後期試験40% *全授業の80%以上出席していない場合は評価対象外となる						
教科書・教材	テキスト1~4 ファイル1冊(プリント配布)						
使用教具・器材	ラルジュ						
テキスト・参考文献:							
その他(授業担当者のコメントなど) 理論の上に実技を行える人になること。3Hの法則を忘れず授業に挑むこと。 「難しい」「分からない」「出来ない」から始まる授業に成長はありません。 常に向上心を持って「好きこそものの上手なれ」です。時間を大切に組みましょう！							

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年			
科 目 名	ボディ		担当教員	鶴 舞子 (美容業界勤務時にボディの実務経験)			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	128	単位数	4	授業回数 64
科目の到達目標及び授業内容							
<p>身体の仕組み、働きや作用を理解し、部位別の目的（リラクゼーション・プロポーション）に応じたケアを学ぶ。 くるぶしから下のフットケアについても学び、技術を修得する。 各マッサージの手技（六技法）と目的を理解する。 美容機器の使用目的、注意点、禁忌事項を理解する。</p>							
授 業 計 画	1	フットケア理論（解剖生理学の理解、爪の病気、足のトラブル） 準備品、ベッド誘導、実技中のタオル操作、ワゴン操作等を理解する					
	2-3	フットケア実技					
	4-5	ボディ理論（解剖生理学の理解、六技法、ボディマッサージの必要性や目的について） 準備品、ベッド誘導、実技中のタオル操作、ワゴン操作等を理解する					
	6-7	背面下肢のマッサージ（トレーニングを含む）					
	8-10	臀部のマッサージ（トレーニングを含む）					
	11-13	背中のマッサージ（トレーニングを含む）					
	14-15	トレーニング					
	16-18	前面下肢のマッサージ（トレーニングを含む）					
	19-21	腹部のマッサージ（トレーニングを含む）					
	22-24	バスのマッサージ（トレーニングを含む）					
	25-27	上肢のマッサージ（トレーニングを含む）					
	28-30	トレーニング					
	31-33	トレーニング					
	34-36	トレーニング					
	37-39	後期試験(実技)					
	40-42	トレーニング					
	43-45	トレーニング					
	46-48	トレーニング					
	49-51	トレーニング					
	52-54	トレーニング					
55-57	トレーニング						
58-60	トレーニング						
61-62	トレーニング						
63-64	トレーニング						
成績評価	①平常点(出席・準備品・授業態度) 20% ②後期試験 80% 全授業の80%以上出席していない場合は評価対象外となる						
教科書・教材	テキスト1~4 ファイル1冊（プリント配布）						
使用教具・器材	低周波・G5 ビューティフット・ブラックファイル・タオル・その他必要に応じて						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど)							
<p>理論の上に実技を行える人になること。3Hの法則を忘れず授業に挑むこと。 「難しい」「分からない」「出来ない」から始まる授業に成長はありません。 常に向上心を持って「好きこそものの上手なれ」です。時間を大切に取り組みましょう！</p>							

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年			
科 目 名	メイクアップ		担当教員	齊藤 晴美 (美容業界にてメイクアップ実務現役活動中) 中村 恭子 (美容業界にてメイクアップ実務現役活動中)			
授業形態	講義・実習		授業時間数	128	単位数	4	授業回数 64
科目の到達目標及び授業内容 メイクアップの基礎知識・基礎技術を習得し、顔を的確に観ることが出来るようになる。 また、TP0に合わせた応用メイク、個性を活かしたメイクとバリエーションを広げ、メイクアップの総合技術を習得する。							
授 業 計 画	1～3	教材配布・管理方法・テーブルセッティング・基本スタンス・体重移動・モデルセッティング等					
	4～6	筋肉と表情・メイクアップ製品について・顔型分析・ベーシックメイクアップ基本理論					
	7	メイクアップフォーエバー インストラクター来訪 デモンストレーション見学 (予定)					
	8～18	道具セッティングチェック・モデルセッティングチェック					
	19～21	ベーシックメイクアップ基本技術 (ファンデーション・アイブロウ・アイメイク・チーク・リップ・ハイライト・シェーディング・トータルバランス)					
	22～24	ベーシックメイクアップまとめ					
	25～30	メイクアップ三大要素 (色・形・質感) を考えたメイクアップ					
	31	タイムトライアルまとめ					
	32～34	前期試験筆記					
	35～58	前期試験実技					
59～61	セレモニーメイクアップ理論・実技						
62～64	総復習 後期試験 (実技)						
成績評価	① 平常点 20% (出席点10%・態度意欲10%) ② 課題 10% ③ 小テスト 10% ④ 前期試験筆記 20% ⑤ 実技試験 40% (前期 20% 後期 20%)						
教科書・教材	教科書・メイク教材一式・スキンケア用品持参 その他 (ヘアバンド・タオル・ティッシュペーパー・綿棒・コットン類・トレイ類)						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 授業は理論と実技を並行して進めていきますので、テキスト、教材などの忘れ物がないようにしてください。忘れ物があった場合は授業見学となり実習に参加できません。授業開始前にエステユニフォームを着用しておくこと。 定期的に課題提出と小テストがあります。日頃からファッション雑誌等のメイク写真切り抜き収集をしておいてください。 実技は相モデルでの実習になります。皮膚疾患等でメイクモデルが出来ない場合は医師の診断書等の事前提出をお願いします。 メイク道具類の管理は各自の責任で行ってください。授業内で指定の道具以外を使用することは禁止とします。 身だしなみチェックを毎回実施します。担当講師から指示がない場合は学校既定の実技実習時のヘア・メイクで受講の事。							

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次／通年			
科 目 名	ネイル		担当教員	中溝 恵美 (美容業界にてネイル実務現役活動中)			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	128	単位数	4	授業回数 64
科目の到達目標及び授業内容 ネイルケア・ネイルアートの基礎知識・技術を身につけ ネイリスト技能検定3級を受験し 資格を取得することを目標とする ペディキュアも同様に 基礎を身につけた上でのサロンワーク応用を実践できるようになること ネイリスト技能検定試験3級 受験日 2020年10月25日(日) または2021年1月24日(日)再受験日							
授 業 計 画	1～3	自己紹介・商品説明・テーブルセッティング					
	4～6	DVD鑑賞・デモンストレーション・消毒法・テーブルセッティング					
	7～12	ケアを理解する ファイリング・バッフィング・キューティクルクリーン・油分除去					
	13～18	カラーリング					
	19～24	ケアとカラーリング通し フラットアート					
	25～27	タイムアタック					
	28～30	タイムアタック					
	31～33	前期テスト 実技90分 ケア・カラーリング アート通し					
	34～42	検定試験対策 タイムアタック ケア・カラーリング通し70分 10/25(日) ネイリスト技能検定試験 3級					
	43～48	ペディキュア基礎					
	49～51	ペディキュア サロンワーク					
	52～57	アートチップ製作 12/22(火) X'masパーティ 冬休み					
	58～61	ペディキュア・アート・サロンワーク通し タイムアタック 1/24(日) ネイリスト技能検定試験 3級再受験日					
62～64	後期テスト実技90分 ペディキュア・フラットアート						
成績評価	1) 平常点10% 2) 実技テスト90%						
教科書・教材	JNAテクニカルベーシック						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど)							

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年				
科 目 名	アロマセラピー		担当教員	齊藤 晴美 (美容業界にてアロマセラピー実務現役活動中) 中村 恭子 (美容業界にてアロマセラピー実務現役活動中)				
授業形態	講義・実習		授業時間数	64	単位数	2	授業回数	32
科目の到達目標及び授業内容 アロマセラピーとは・精油 (エッセンシャルオイル) の安全な使用方法・プロフィール等、芳香療法を多方面から学ぶ。 原料植物・歴史や健康学などの知識を深め、アロマセラピー検定1級取得をねらう (任意) ※アロマ環境協会 アロマセラピー検定試験時期 11月上旬								
授 業 計 画	1~2	テキスト、教材配布 アロマセラピー概論 <ul style="list-style-type: none"> ・アロマセラピーとは ・精油 (エッセンシャルオイル) とは ・アロマセラピーのメカニズム ・アロマセラピーの資格について ・アロマセラピーの歴史 精油プロフィール DVD鑑賞						
	3~13	精油プロフィール DVD鑑賞						
	14	前期試験 (筆記)						
	15~20	復習・理論まとめ						
	21~30	基材を用いたアロマセラピーの楽しみ方 アロマセラピー応用・様々な楽しみ方						
	31	総まとめ						
	32	後期試験						
	成績評価	1) 平常点20% (出席10%・態度意欲10%) 2) 課題・小テスト20% 3) 定期試験60% (前期後期試験各30%)						
教科書・教材	アロマセラピー検定公式テキスト その他プリント							
使用教具・器材	アロマセラピー配布教材							
テキスト・参考文献： その他 (授業担当者のコメントなど) エステティシャンには欠かせない知識・技術のアロマセラピー (芳香療法) です。1年次は主に知識面を学習します。 知識の習得具合を客観的に判断する為、アロマ環境協会主催のアロマセラピー検定1級の受験 (11月) に合わせたスケジュール で進めていきます。植物アレルギーのある人は事前に申し出てください。授業開始前にエステユニフォームを着用しておくこと。 配布物のビン類は毎回自宅で洗浄後水分をふき取り乾燥させて持参してください。 身だしなみチェックを毎回実施します。担当講師から指示がない場合は学校既定の実技実習時のヘアメイクで受講の事。								

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次／通年			
科 目 名	脱毛		担当教員	鶴 舞子（美容業界勤務時に脱毛の実務経験）			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	64	単位数	2	授業回数 32
科目の到達目標及び授業内容 毛の構造、毛の成長経過、毛の性質や部位別の毛の働きを理解する。 まつ毛やうぶ毛の処理をすることによりメイクアップの仕上がりに変化があることを他教科と並行して修得する。 脱毛処置の技術（一時的脱毛、電流による脱毛処理）、脱毛後の肌のお手入れ、脱毛処理ができない肌状態、健康状態など 脱毛に関する多方面から脱毛テクニックを修得する。							
授 業 計 画	1	毛髪についての基礎知識					
	2-3	脱毛の目的・技術 ・道具の説明					
	4-5	ワックス脱毛の基礎知識 ・セッティング、手順、注意事項					
	6-7	ワックス脱毛デモンストレーション/トレーニング ・下肢 ・上肢 ・背面 ・腋					
	8-9	トレーニング					
	10	前期試験（筆記）					
	11-13	トレーニング					
	14-15	トレーニング					
	16-17	後期試験（実技）					
	18-20	トレーニング					
	21-23	トレーニング					
	24-26	トレーニング					
	27-29	トレーニング					
	30-32	トレーニング					
成績評価	平常点 10% 前期試験（筆記） 40% 後期試験（実技） 50%						
教科書・教材	テキストⅣ ファイル1冊（プリント配布）						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 実技は準備品が多くあります。忘れ物がないようにしてください。							

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年			
科 目 名	造形と色彩		担当教員	柴田 知子			
授業形態	講義		授 業 時間数	32	単位数	2	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 パーソナルカラーリスト検定3級合格を目指す。 身の周りの色彩に興味を持ち、実践に役立つ基本的な色彩知識や配色技法を身に付ける。 色彩が仕事や生活の幅を広げていけるようにする。							
授 業 計 画	1～3	第1章 色彩と文化 (四季の自然を表す色～慣用色名などを学ぶ) ◇日本の色と歴史・・古来より美しい色彩、歴史とのかかわり ◇色と生活・・周りに取り巻く様々な色を見る ◇色の種類・・色名について理解する					
	4～6	第2章 色彩理論 色のしくみ～色に見えるメカニズムを知る ◇CUS表色系・・カラーアンダートーンシステムについて学ぶ					
	7～9	第2章 色彩理論 色の三属性～色を表す物差しについて理解する ◇対比現象・・対比効果と同化効果について ◇色の感情効果・・色のイメージや心理効果について					
	10	第2章 色彩理論 CUSの配色表色系配色効果、配色演習、配色実習					
	11	第3章 色彩とファッション～ブライダルと色彩について、服飾史の基礎知識					
	12	第4章 パーソナルカラー パーソナルカラー概論					
	13	第4章 パーソナルカラー 肌のしくみ・皮膚の構造・髪の毛の科学・ヘアメイクについて					
	14	前期試験					
	15・16	パーソナルカラーまとめ 検定対策					
成績評価	1) 平常点 10% 2) 定期試験 90%						
教科書・教材	パーソナルカラーリスト検定3級公式テキスト・カラーカードCUS157						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献： パーソナルカラーリスト検定3級問題集 COLOR Arrangement							
その他(授業担当者のコメントなど)							

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次／通年			
科 目 名	キャリア形成		担当教員	畑山 未来、白石 真紀			
授業形態	講義・演習		授 業 時間数	16	単位数	1	授業回数 8
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・社会人として、基本的なマナーを知り、「相手の立場に立って考え行動できる力」を身に付ける。 ・就職試験における面接の重要性、見られるポイント、マナー、言葉遣い等を理解する。 ・模擬面接を行い、面接の基本的な動作、質疑応答を体験し、面接対応力を習得、整備する。 ・普通救命における応急手当の必要性を理解し、心肺蘇生体験キットを使用して、応急手当を体験する。 							
授 業 計 画	1-2	【ビジネスマナー】 社会人基礎力 オリエンテーション・働くということ・心遣いとは					
	3-4	【ビジネスマナー】 ビジネスマナー ビジネスマナーの基本・ビジネスマナー①、②					
	5-6	【ビジネスマナー】 ビジネスマナー ビジネスマナー③、④・ビジネスとホスピタリティ					
	7	【就職面接指導】 <ul style="list-style-type: none"> ・面接の重要性、見られるポイント、マナー、言葉遣い等の理解 ・模擬面接 					
	8	【普通救命指導】 <ul style="list-style-type: none"> ・応急手当の必要性 ・心肺蘇生体験キットを使用して、胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使用を体験 					
成績評価	平常点 100%						
教科書・教材	プリント配布						
使用教具・器材	プロジェクター						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) <ul style="list-style-type: none"> ・平常点について、授業中の姿勢。※姿勢の乱れ、居眠りなど評価基準が下がります。 							

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次／通年				
科 目 名	ヘアアレンジ		担当教員	原口 孝子（美容業界勤務時にヘアアレンジの実務経験）				
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	32	単位数	1	授 業 回数	16
科目の到達目標及び授業内容								
<ul style="list-style-type: none"> ・エステティシャンとして自分の夜会巻きスタイルを習得する ・ヘアアレンジへの興味を持ち、日常の自分のヘアスタイルにも工夫し身だしなみを整える ・何度も繰り返し練習することで、技術の習得の重要性を知る ・説明を聞き、手元を見て、実践していくことで、集中力を養う ・似あわせのデザインを考える力を身につける ・欠課がないよう自己管理をする 								
授 業 計 画	1	自己紹介 一年間の流れ 目標について 今後の準備物						自分の夜会巻きスタイルの練習①
	2	道具の使用説明 アイロンを使ってみよう						自分の夜会巻きスタイルの練習②
	3	アイロンを使おう（カールアイロン ストレートアイロン）						夜会巻きチェック①
	4	アイロンとねじりでカールスタイルを作ろう						夜会巻きチェック②
	5	アイロンと編みこみでカールスタイルを作ろう						夜会巻きチェック③
	6	アイロンと編みこみで後れ毛スタイルを作ろう						夜会巻きチェック④
	7	裏編みこみを習得しよう						夜会巻きチェック⑤
	8	アイロンと裏編みこみでスタイルを作ろう						夜会巻きチェック⑥
	9	ねじりで似あわせのスタイルを作ろう						
	10	編みこみで似あわせのスタイルを作ろう						夜会巻きチェック①
	11	パーティースタイルを作ろう①						夜会巻きチェック②
	12	パーティースタイルを作ろう②						夜会巻きチェック③
	13	パーティースタイルを作ろう③						夜会巻きチェック④
	14	パーティースタイルを作ろう④						夜会巻きチェック⑤
	15	INFA検定のスタイルを考えて作ろう 道具の片付け						
	16	INFA検定のスタイルを考えて作ろう 道具の片付け						
成績評価	1) 平常点 20% 2) レポート 20% 3) 実技テスト 60%							
教科書・教材	プリント配布							
使用教具・器材	カールアイロン、ストレートアイロン、コーム、ピン、ダックカール							
テキスト・参考文献：								
その他(授業担当者のコメントなど) プリント管理のためのファイルを用意すること アイロンやピンやゴムなどは私物使用となるため、各自で用意のこと（授業内で説明あり）								

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次／通年			
科 目 名	福祉皮膚美容		担当教員	高橋 美沙子			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	32	単位数	1	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 ●人と人が「ふれあう」ことをコミュニケーションの手法とし、老若男女あらゆる人々に「心の癒し」「ストレスの解消」「一人ではないことへの安心感」を与える事を学ぶ。 ●健康であることを基本として人体のしくみを学ぶ。 ●個々のQOL（クオリティ・オブ・ライフ）を高めるための福祉活動の在り方について学ぶ。							
授 業 計 画	1	福祉皮膚美容の倫理と緩和ケアを学ぶ					
	2	人体の基礎知識（基本的には高齢者） ○ 人体の老化による変化を知る ○ 心身活動に対する適応 ○ 老化の原因 ○ 皮膚のしくみ					
	3	アロマセラピー ○ アロマセラピーの目的 ○ アロマセラピーの人体への作用					
	4	ハンドケア ○ 福祉皮膚美容の手技を習得する ○ 一般的な手技と福祉皮膚美容士の施術の違いを習得する					
	5	フットケア ○ 足のむくみなどのケアを習得					
	6	爪のケアとカラーリング ○ 福祉活動における爪のケア ○ QOL活動の満足感を与える一助の技術を習得					
	7	表情筋トレーニングとセラピーメイク ○ 表情を豊かにするセラピーメイクを習得する ○ QOLを高め満足感を与える一助の技術を習得					
	成績評価	平常点 10% 定期考査 90% ＊全授業の80%以上の出席がない場合は評価対象外となる					
教科書・教材	福祉皮膚美容教本（No1～No7）						
使用教具・器材	タオル、ネイル道具、メイク道具、マッサージオイル（教材を使用）						
テキスト・参考文献：							
その他（授業担当者のコメントなど） 色鉛筆（12色以上） A4サイズ（30穴）のリングファイル							

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/前期			
科 目 名	サロン実務		担当教員	松永 幸子			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	64	単位数	2	授業回数 32
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・エステティシヤンの仕事に対する意識を向上させる ・一連のサロンワークの流れを把握する ・サロン実習に備え自ら行動し、即戦力となる人材を目指す 							
授 業 計 画	1~2	オリエンテーション エステティシヤンとしての自覚・心構え エステティックサロン及び美容系サロンでの就労の心構え(身だしなみ・所作等) 各種マナー(就労マナー・接客マナー・電話対応マナー) サロンでの1日の流れ					
	3~5	サロン研修トレーニング お出迎え～お見送り 予約の取り方・電話対応等 接客手順・各種マナー確認					
	6~32	サロン現場実習(9日間) 平日 11:00~18:00(実質6時間) (10:00~17:00) 日報作成・レポート提出					
成績評価	1) 平常点 60% 2) レポート 20% 3) サロン評価 20%						
教科書・教材	プリント配布						
使用教具・器材							
A4サイズファイル(配布資料の保存) クリップボード							
その他(授業担当者のコメントなど) 実習服での授業となりますので、常に清潔感を意識すること。 実習先への忘れ物がないようにし、時間を守り、業務連絡を的確に行い、相談報告を怠らないこと。 サロン実務とは何かを各自が考え、目的や目標をしっかりと立て、真摯に取り組むようにしてください。							

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／前期			
科 目 名	皮膚科学		担当教員	高橋 美沙子			
授業形態	講義・演習		授 業 時間数	32	単位数	2	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 ●人体のしくみを理解し皮膚への作用を学習する。 ●皮膚トラブルの要因と対処方法を学習する。							
授 業 計 画	1～2	体のしくみを復習 肌(体)心を結ぶ働きを学習する					
	3～4	皮膚について ① 皮膚の役割 ② 肌(皮膚)を見る ③ 肌に表れる様々な因子について ④ 正しく見る視点					
	5～6	皮脳同根について ① 皮膚は心の表れである所以を学習する ② 皮膚感覚(五感)について ③ 三つの脳の働きについて					
	7～8	ホルモンと神経と皮膚の関係性について ① 体の調整役ホルモン ② 自律神経のリズム(ストレス)					
	9～12	肌質の分類 ① 乾燥肌の特徴 ② 脂性肌の特徴 ③ 斑(シミ) ④ しわ・たるみ					
	13～14	皮膚の障害 ① 接触性皮膚炎 ② 老化					
	15・16	この2時間は前期テスト・後期テストの時間に充当する。					
成績評価	平常点 10% 定期考査 90%						
*平常点は出席率100%で10%の評価とする。同じく定期考査は100点で90%の評価とする。							
教科書・教材	教科書 I プリント配布						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献： 化粧品成分用語事典・コスメティックQ&A事典・美容皮膚科学事典							
その他(授業担当者のコメントなど) A4クリアファイル(配布資料の保存)							

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／前期			
科 目 名	アロマセラピー（リフレクソロジー(反射区)）		担当教員	齊藤 晴美（美容業界にてアロマセラピー実務現役活動中） 中村 恭子（美容業界にてアロマセラピー実務現役活動中）			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	96	単位数	3	授業回数 48
科目の到達目標及び授業内容 アロマセラピーの基本的体系をはじめ、ワンランク上の専門知識と技術の習得を図り、サロンワークに役立つスキルを得る。また、パーツトリートメントとしてもニーズの高いフットやハンドを行う上で不可欠なリフレクソロジー（反射区療法）の知識と技術の習得も目指す。							
授 業 計 画	1～3	ガイダンス・教材配布・精油のブレンド・賦香率について リフレクソロジー概論・反射区について					
	4～6	ハンドリフレクソロジー 理論と実技					
	7～12	フットリフレクソロジー 理論と実技					
	13～18	リフレクソロジー応用（体質・体調別手技）					
	19～41	アロマセラピーによるマッサージ技法・体質別精油ブレンドオイル作成					
	42～44	復習					
	45	前期試験（筆記）					
	46～48	前期試験（実技）					
成績評価	1) 平常点20%（出席点10%態度意欲10%） 2) 課題・小テスト20% 3) 前期試験60%（筆記30%実技30%）						
教科書・教材	アロマセラピー検定公式テキスト・教科書4・その他プリント配布 タオル類・筆記用具・色鉛筆						
使用教具・器材	配布教材一式（昨年配布したアロマ教材も）						
テキスト・参考文献： その他(授業担当者のコメントなど) 実習の際には毎回持参物が異なります。授業時に伝達しますので忘れ物がないようにしてください。 忘れ物があった場合は授業見学となり実習に参加できません。授業開始前にエステユニフォームを着用しておくこと。 植物アレルギーのある人、足の皮膚疾患（白癬菌等）に罹患している人は早めに申し出てください。 身だしなみチェックを毎回実施します。担当講師から指示がない場合は学校既定の実技実習時のヘア・メイクで受講の事。 実技は相モデルで行います。皮膚疾患等でモデルが出来ない人は医師の診断書等の事前提出をお願いします。							

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／前期			
科 目 名	造形と色彩		担当教員	柴田 知子			
授業形態	講義	授 業 時間数	32	単位数	2	授業回数	16
科目の到達目標及び授業内容 パーソナルカラリスト検定2級合格を目指す。 色についての応用力を深め、色の知覚効果やCUSを用いた配色テクニックを学ぶ。 パーソナルカラリストとスタイリングの関係を学ぶ。							
授 業 計 画	1・2	第1章 色彩と文化～ 染料と顔料、それにより出来る色の種類と色名を知る ヨーロッパの色の歴史について					
	3・4	第2章 色彩理論～ 色彩の基礎 (混色)・・減法混色、加法混色、中間混色についての原理 照明と色・・光源の種類、その用途、照明による色の見え方の違い 色の知覚効果・・物理的な側面、心理的な側面から変化する色の見え方 加齢による眼の構造の変化、物の見え方					
	5・6	第2章 色彩理論～ 基本的な配色テクニック					
	7・8	第3章 CUS配色調和論～CUS配色調和論・・色調によってアンダートーンが変化すること 特に明度の変化により、アンダートーンが変化することを知る					
	9	第4章 色彩を活かすテクニック～ ファッション、ディスプレイ、インテリア、色彩の活用テクニック ファッションとイメージワード、ディスプレイと色彩、インテリアと色彩					
	10・11	第5章 パーソナルカラー～ パーソナルカラーとスタイリング パーソナルカラーの理解度を深め、ビジネス、アウトドア、パーティ、ウエディングについて					
	12・13	第5章 パーソナルカラー～ パーソナルカラーとスタイリング・それぞれシーン別のコーディネート					
	14・15	パーソナルカラリスト2級検定対策～ まとめ 過去問題 解答、解説					
	16	前期試験					
	成績評価	1) 平常点 10% 2) 定期試験 90%					
教科書・教材	パーソナルカラリスト検定2級公式テキスト(2級.1級合板) カラーカードCUS157						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献： パーソナルカラリスト検定2級問題集 ・ COLOR Arrangement							
その他(授業担当者のコメントなど)							

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／前期			
科 目 名	東洋医学		担当教員	星野 晶子			
授業形態	講義	授 業 時間数	32	単位数	2	授業回数	16
科目の到達目標及び授業内容 プライマリエステティックを実践していくためには、皮膚、体にトラブルが発生する前にそれを未然に防ぐためのケアが行えるよう、人体のバランスを学ぶ必要がある。 東洋医学でいかに人間がバランスをとることで健やかに生きることができるか、衣食住の環境を整えることが心身の健康維持につながるかを学び、身近にある食品、植物、薬品とのかかわり、東洋医学とアロマ、アーユルヴェーダなどの補完代替医療のつながりを総括的に学び、その活用法を身につける。							
授 業 計 画	1	東洋医学とは					
	2	五行説					
	3	経絡について					
	4	経絡と主な経穴					
	5	プライマリーエステティック－気候風土と食生活、体質論					
	6	プライマリーエステティック－正食法、ナトリウムとカリウムのバランス					
	7	プライマリーエステティックの原点					
	8	プライマリーエステティック－体質別特徴、食品					
	9	病位の診断、皮膚病と病位					
	10	皮膚と経絡、病位の活用法と経絡					
	11	熱中症について					
	12	食中毒や下痢、便秘など身近な病気と対処法					
	13	アーユルヴェーダ概論					
	14	女性のホルモンバランスと更年期					
	15	女性特有の疾患					
	16	試験					
成績評価	1) 平常点 20% 2) 定期試験 80%						
教科書・教材	テキスト5						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど)							

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科	開講時期	2年次／前期			
科 目 名	ボディワーク	担当教員	小柳 佐知子			
授業形態	講義・実習	授 業 時間数	32	単位数	1	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ヨガで心身統一 ・内面からの美しさを目指す ・体を整え女性疾患のトラブルを軽減する（冷え、生理痛、生理不順など） 						
授 業 計 画	1	自己紹介、ヨガについて、カウンセリング、今後の進め方、初めてのヨガ（座位や仰臥位メイン）				
	2	体調確認、前回の感想、呼吸法（完全呼吸）、リラックスヨガ				
	3	体調確認、前回の感想、呼吸法（完全呼吸）、リラックスヨガ				
	4	体調確認、前回の感想、呼吸法（完全呼吸、片鼻呼吸）、リラックスヨガ				
	5	体調確認、呼吸法（完全呼吸、片鼻呼吸）、ハタヨガ、太陽礼拝A				
	6	体調確認、呼吸法（完全呼吸、片鼻呼吸、クンバカ）、ハタヨガ、太陽礼拝A				
	7	体調確認、呼吸法（完全呼吸、片鼻呼吸、クンバカ）、ハタヨガ、太陽礼拝AB				
	8	体調確認、呼吸法（完全呼吸、片鼻呼吸、クンバカ）、骨盤調整ヨガ、太陽礼拝AB				
	9	体調確認、呼吸法（完全呼吸、片鼻呼吸、クンバカ）、骨盤調整ヨガ、太陽礼拝AB				
	10	体調確認、呼吸法（完全呼吸、片鼻呼吸、クンバカ）、ボディメイクヨガ、太陽礼拝AB				
	11	体調確認、呼吸法（完全呼吸、片鼻呼吸、クンバカ）、ボディメイクヨガ、太陽礼拝AB				
	12	体調確認、呼吸法（完全呼吸、片鼻呼吸、クンバカ）、姿勢改善ヨガ、太陽礼拝AB				
	13	体調確認、呼吸法（完全呼吸、片鼻呼吸、クンバカ）、姿勢改善ヨガ、太陽礼拝AB				
	14	体調確認、呼吸法（完全呼吸、片鼻呼吸、クンバカ）、美脚ヨガ、太陽礼拝AB				
	15	体調確認、呼吸法（完全呼吸、片鼻呼吸、クンバカ）、美脚ヨガ、太陽礼拝AB				
	16	体調確認、呼吸法（完全呼吸、片鼻呼吸、クンバカ）、総復習				
	成績評価	平常点 100%				
教科書・教材						
使用教具・器材	ベルト、マット、ブロック、お水、タオル					
テキスト・参考文献：						
その他(授業担当者のコメントなど) 靴下やストッキングはぬいで裸足で行います。 動きやすい恰好をお願いします。						

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／前期			
科 目 名	キャリア形成		担当教員	畑山 未来、白石 真紀、田中 篤			
授業形態	講義・演習		授 業 時間数	32	単位数	2	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容							
<p>【ビジネスマナー】 社会人として、基本的なマナーを知り、「相手の立場に立って考え行動できる力」を身に付ける。 考える力を育て、書く、話す力を身に付ける。コミュニケーション能力を向上する。 就職活動及びインターンシップに向けて必要な準備やマナーを習得する。</p> <p>【ファイナンシャルプランニング】 お金に関する正しい知識を習得し、適切な判断ができるようになる。</p>							
授 業 計 画	1-2	【ビジネスマナー】 社会人基礎力 オリエンテーション・働くということ・心遣いとは					
	3-4	【ビジネスマナー】 ビジネスマナー ビジネスマナーの基本・ビジネスマナー①、②					
	5	【ファイナンシャルプランニング】 生活設計：長期的な経済計画					
	6-7	【ビジネスマナー】 ビジネスマナー ビジネスマナー③、④・ビジネスとホスピタリティ					
	8	【ファイナンシャルプランニング】 家計管理：短期的な経済計画					
	9-10	【ビジネスマナー】 就職講座 訪問のマナー・お礼状の書き方・相手への気遣い					
	11	【ファイナンシャルプランニング】 カードトラブル					
	12-13	【ビジネスマナー】 就職講座・社会人基礎力 働くとは・社会人（プロ）とは・考える力、書く力					
	14-15	【ビジネスマナー】 就職講座・社会人基礎力 コミュニケーションスキル①、② 仕事の進め方 基本					
	16	【ファイナンシャルプランニング】 インターネットトラブル					
成績評価	平常点 100%						
教科書・教材	プリント配布						
使用教具・器材	プロジェクター						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) ・平常点について、授業中の姿勢。※姿勢の乱れ、居眠りなど評価基準が下がります。							

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／前期			
科 目 名	茶道		担当教員	関野 ちか			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	32	単位数	1	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 日本の伝統文化である茶道を通して、立ち居振る舞いとおもてなしの心を会得する。 点前の作法から日常生活の向上と合理性を会得し、茶道を生活の中に生かすとともに礼儀を学ぶ。							
授 業 計 画	1～2	茶道とは 古儀茶道敷内流について 浴衣着付け 茶席のマナー 薄茶、お菓子のいただき方					
	3～4	立ち居振る舞い 道具について 割り稽古（ふくさ捌き） 薄茶、お菓子の運び方					
	5～6	割り稽古（茶巾のたたみ方、茶筌、茶碗の扱い方） 主菓子と干菓子					
	7～8	割り稽古（棗、茶杓、柄杓の扱い方）					
	9～14	風炉薄茶 運び点前 客と亭主					
	15	風炉薄茶 山里点前					
	16	まとめ 茶会					
成績評価	1) 平常点 50% 2) 実技テスト 50%						
教科書・教材	ふくさ・扇子・懐紙・菓子切り 浴衣一式・足袋または白色ソックス						
使用教具・器材	ふすま・たたみ・電気ポット・延長コード 風炉釜・茶碗・茶杓・茶筌・棗・茶巾・柄杓・建水・蓋置・菓子器						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 浴衣を着て授業をします。髪は結んでまとめる。							

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次/通年			
科 目 名	福祉皮膚美容		担当教員	鶴 舞子			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	64	単位数	2	授業回数 32
科目の到達目標及び授業内容 高齢者における美容の役割を認識し技術を学ぶ 高齢者の五感のバランス機能について学び、その五感をフルに活用した美容技術・知識を習得する							
授 業 計 画	1-4	◆福祉皮膚美容の倫理と緩和ケアについて ◆人体の基礎知識					
	5-7	◆ハンドケア・フットケア 緩和ケアへの技術(3つの配りをもった技法)を学ぶ パルパシオンマッサーの理解					
	8-9	◆アロマセラピー					
	10-11	◆演習 セラピーメイク・カラーリング セラピーメイク(お化粧が高齢者にもたらす影響) ネイル(カラーリング)					
	12-14	◆レクリエーション					
	15-17	◆レクリエーション					
	18-20	◆レクリエーション					
	21-23	◆試験対策					
	24	□前期試験(筆記)					
	25-26	□前期試験(実技)					
	27-29	◆レクリエーション					
30-32	まとめ						
成績評価	① 平常点 20% ② 前期試験(筆記30% 実技50%)						
教科書・教材	福祉皮膚美容テキスト (No1~No7)						
使用教具・器材	マッサーオイル・メイク道具・ネイル道具・タオル・その他 色鉛筆(12色以上)						
テキスト・参考文献							
その他(授業担当者のコメントなど) 3つの配り(目配り・気配り・心配り)を自分の力とすることを日頃から気に留めてください。							

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／通年			
科 目 名	サロン実務		担当教員	松永 幸子			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	384	単位数	12	授業回数 192
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ エステティシャンの仕事に対する意識を向上させる ・ サロンワークに必要な、接客マナー、実践テクニック、営業力、コミュニケーション能力を身につける ・ 相手の立場になって行動できる人材を目指す ・ 対価を得る仕事を体験し、サロン運営の在り方を学ぶ ・ 就職後、即戦力となるようサロンでの現場力を磨く 							
授 業 計 画	1～2	オリエンテーション エステティシャンとしての自覚・心構え エステティックサロン及び美容系サロンでの就労の心構え（身だしなみ・所作等） 各種マナー（就労マナー・接客マナー・電話対応マナー） サロンでの1日の流れ					
	3～4	サロン研修トレーニング お出迎え～お見送り 予約の取り方・電話対応等 接客手順・各種マナー確認 救急の確認 美容機器取り扱いについて					
	5～192	サロン現場実習 平日・土日 11:00～18:00（実質6時間） (10:00～17:00) 日報作成・レポート提出 その他予定 サロン現場実習振り返り 地域貢献ボランティア 体験学習					
成績評価	1) 平常点(60) % 2) レポート (20) % 3) サロン評価 (20) %						
教科書・教材	プリント配布						
使用教具・器材							
A4サイズファイル（配布資料の保存） クリップボード							
その他(授業担当者のコメントなど) 実習服での授業となりますので、常に清潔感を意識すること。 実習先への忘れ物がないようし、時間を守り、業務連絡を的確に行い、相談報告を怠らないこと。 サロン実務とは何かを各自が考え、目的や目標をしっかりと立て、真摯に取り組むようにしてください。							

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／通年			
科 目 名	メイクアップ応用		担当教員	齊藤 晴美 (美容業界にてメイクアップ実務現役活動中) 中村 恭子 (美容業界にてメイクアップ実務現役活動中)			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	160	単位数	5	授業回数 80
科目の到達目標及び授業内容 1年次に習得したメイク技術を更に進化させ、多様なバリエーション、TPOに合わせたメイク、アーティスティックメイク等の習得を図る。また、ヘアメイクアップフォトコンテスト参加の為に作品制作、入賞をねらう ※今年のテーマ 「Anniversary～記念日～」							
授 業 計 画	1～3	教材配布 TPO別、世代別サロンメイク①					
	4～6	TPO別、世代別サロンメイク②					
	7～42	スチールメイク					
	43～45	前期試験（実技）					
	46～54	作品制作					
	55～75	ステージメイク（ピエロ・ハロウィン・歌舞伎・タカラヅカ・バレエ・日舞・舞妓 等）					
	76～77	総まとめ					
	78～80	後期試験（実技）					
成績評価	1) 平常点20%（出席点10%・態度意欲10%） 2) 課題20% 3) 実技試験60%（前期・後期各30%）						
教科書・教材	メイク道具一式・タオル類・デザイン帳・サインペン・色鉛筆・絵具類 ※ボディペインティング、作品制作を行う場合はエステガウン、エプロン持参						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献： その他(授業担当者のコメントなど) 毎回実技を行いますのでメイク道具類一式を必ず持参してください。忘れ物があった場合は授業見学となり実習に参加できません。 作品制作は写真撮影、ヘアスタイリング、衣装や背景に使用する道具類も全て各自で行います。日頃から参考資料などスクラップしておく事。 実技は相モデルでの実習となります。皮膚疾患等でメイクモデルが出来ない場合は医師の診断書等の事前提出をお願いします。 メイク道具類の管理は各自の責任で行ってください。授業内で指定の道具以外を使用することは禁止とします。 授業開始前にエステユニフォームを着用しておくこと。身だしなみチェックを毎回実施します。 担当講師から指示がない場合は学校既定の実技実習時のヘア・メイクで受講の事。							

2020年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次/通年			
科 目 名	ネイル応用		担当教員	高尾 慶子 (美容業界にてネイル実務現役活動中)			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	160	単位数	5	授業回数 80
科目の到達目標及び授業内容 ネイルケア・リペア・チップラップ・ジェルネイルなどサロンワークに適応できる知識と技術を身につける ネイリスト技能検定試験2級とジェル検定初級に興味を持ち挑戦するきっかけを作る フラットアート・3Dアートなどのサロンアートを幅広く学ぶことができる オリジナルの感性を生かし テーマにそったアートを作り出す力を身に付ける							
授 業 計 画	1～3	商品説明・テーブルセッティング					
	4～6	消毒法・ジェルネイル基礎学					
	7～15	ジェルアート ピーコック					
	16～27	ラップ・リペア・チップ装着 チップラップ					
	28～36	フラットアート					
	37～42	前期テスト 予習時間 (ジェル赤・ピーコック・チップラップ)					
	43～45	前期テスト (ジェル赤・ピーコック・チップラップ)					
	46～59	3Dアート アクリルスカルプチュア					
	60～71	クリスマスアートチップ製作 アートコンテスト					
	72～77	サロンアート・ブライダルネイルアート					
78～80	後期試験 卒業制作						
成績評価	1) 平常点 10% 2) 実技テスト 90%						
教科書・教材							
使用教具・器材							
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど)							